



1 ムラサキモメンツル



2 スジグロシロチョウ



3 フジアザミ



4 マツオウジ



世界文化遺産登録10周年記念・令和5年度企画展Ⅳ

富士山と三保松原の生き物



5 ハマヒルガオ



6 アサギマダラ



7 ハマゴウ



8 ジョウビタキ

写真：1・3 山梨県富士山科学研究所提供 2 桜美林大学 大脇淳氏提供 4~8(一財)三保松原保全研究所提供

2024

3.16(土) - 5.12(日)

富士山と三保松原に生息する植物や昆虫などの生き物について、パネルと標本で紹介します。



共催 一般財団法人 三保松原保全研究所

開館 9:00~16:30
年中無休・入館無料
〒424-0901
静岡市清水区三保1338-45
☎054-340-2100
<https://miho-no-matsubara.jp/>



※最新の開館状況はHPでご確認ください。

富士山と三保松原の生き物

標高3,776mという日本一の高さを誇る富士山は、高さによって異なる植物の分布を見ることができ、様々な哺乳類、鳥類、昆虫類等が生息しています。一方、富士山から約45km離れた三保半島に位置する三保松原では、養分に乏しく乾燥しやすい環境に強い植物が比較的多く分布し、マツ林内ではマツと共生してその育成を助ける「菌根菌」等のきのこが生息しています。

2023年に世界文化遺産登録10周年を迎えた富士山と、その構成資産である三保松原の生き物の特徴について、パネルと標本で紹介します。



河原や砂浜を好む可憐な花
カワラナデシコ



乾燥に強い多肉植物
タイトゴメ



まつやに松脂が大好き！
ヤニサシガメ



雄の羽は美しい瑠璃色
ルリビタギ



富士山の砂礫地に咲く白い花
フジハタザオ



環境によって形が変わる！
カラマツ

写真：1～3（一財）三保松原保全研究所提供 4 NPO 法人静岡県自然史博物館ネットワーク提供 5,6 山梨県富士山科学研究所提供

会期中イベント

■ 松原さんぽ～春の植物観察会

「羽衣の松」周辺を歩きながら、松原の植物を観察します。
※雨天時室内講演会

日時：4/21(日)10:00～12:00

講師：早川宗志氏

(ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授)

会場：「羽衣の松」周辺

※みほしるべ2階会議室集合解散

定員：25名(無料・小学校3年生以下保護者同伴)

申込：電話で静岡市コールセンターへ

(☎054-200-4894)

3/26(火)8:00～申込順



■ みほしるべ土曜市場

保全活動と一緒に楽しめるマルシェです。
松葉かきに参加してスタンプをためると、マルシェで使える「松葉通貨」と交換できます。

※雨天中止

日時：3/16(土)、4/20(土)

10:00～16:00

場所：羽衣公園(みほしるべ前広場)



■ プチ松原保全研修

「マツの雄花と雌花を見てみよう」

日時：4/20(土)

11:00～12:00、13:00～14:00

場所：羽衣公園(みほしるべ前広場)

※雨天館内

■ みほしるべ展示クイズラリー

みほしるべの展示を見ながらクイズに挑戦！
参加者にはオリジナル缶バッジをプレゼント。

日時：企画展開催期間中の日曜祝日

各日9:00～15:00随時受付

受付：みほしるべ1階総合案内

定員：各日30名(先着順)

申込：不要、当日直接会場へ



イベントの最新情報は
公式サイトをご覧ください。



開館 9:00～16:30
年中無休・入館無料
ミュージアムショップあり

【JR】
清水駅から三保方面行きバス約25分
「三保松原入口」下車徒歩約15分

【静岡鉄道】
新清水駅から三保方面行きバス約20分
「三保松原入口」下車徒歩約15分

※土日祝日のみ「世界遺産三保松原」行きのバスが運行します。
バス停からみほしるべまでは徒歩数分です。

【車】
清水ICから約25分
静岡ICから約35分
日本平久能山スマートICから約25分
(駐車場173台)

音声ガイドを使ってもっと
三保松原を楽しもう！



松原の保全活動に
参加してみませんか？

詳細は
こちら→

